

明治学院大学法学部
「グローバル法学科（仮称）」
設置構想についての人材需要アンケート調査 報告書

平成 28 年 3 月

株式会社 高等教育総合研究所

目次

1. 人材需要アンケート調査 概要	1
2. 人材需要アンケート 全質問項目の集計結果	2
3. 人材需要アンケート 集計結果のポイント	8

添付資料

【添付】「明治学院大学法学部 グローバル法学科（仮称） 設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙	13
--	----

1. 人材需要アンケート調査 概要

- ◆調査の目的 : 本調査は、明治学院大学法学部が平成 30 年 4 月設置に向けて構想中のグローバル法学科（仮称）の卒業生の就職におけるニーズを、大学外の公正な第三者機関により事業所へのアンケートを用いて測ることを目的とする。

- ◆調査期間 : 平成 28 年 1 月～2 月

- ◆調査対象 : 平成 30 年 4 月設置をめざすグローバル法学科（仮称）の卒業生の採用が期待できる企業・団体として、法学部既設学科の卒業生について採用実績があり、関東圏（東京都・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県）に所在する企業・団体 1,047 件を対象とした。

- ◆調査方法 : 調査対象とした 1,047 件の採用ご担当者宛てに、明治学院大学法学部グローバル法学科（仮称）の説明が入ったアンケート用紙を送付。回答後、返信を求めた。

- ◆調査内容 : アンケート項目は全 9 問で、8 問が選択肢式、1 問が記述式とした。主な質問内容は、以下の通りである。
 - 『企業・団体の基本情報』
 - 『明治学院大学法学部グローバル法学科（仮称）への興味について』
 - 『明治学院大学法学部グローバル法学科（仮称）の卒業生の採用見込みについて』

- ◆回収件数 : 123 件 （依頼件数 1,047 件 / 回収率 11.7%）

2. 人材需要アンケート調査 全質問項目の集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

2～7 ページは、アンケートで回答を得た 123 件の回答結果に基づく集計結果である。

問1 貴社・貴団体の所在地を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 東京都	83	67.5%
2. 神奈川県	25	20.3%
3. 茨城県	2	1.6%
4. 栃木県	3	2.4%
5. 群馬県	1	0.8%
6. 埼玉県	3	2.4%
7. 千葉県	6	4.9%
8. その他	0	0.0%
(無回答)	0	0.0%
合計	123	100.0%

問2 貴社・貴団体の業種を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 水産・農林業	0	0.0%
2. 鉱業	0	0.0%
3. 建設業	4	3.3%
4. 製造業	8	6.5%
5. 商業	8	6.5%
6. 金融・保険業	18	14.6%
7. 不動産業	5	4.1%
8. 運輸業	1	0.8%
9. 情報通信業	21	17.1%
10. 電気・ガス業	1	0.8%
11. サービス業	20	16.3%
12. その他	36	29.3%
(無回答)	1	0.8%
合計	123	100.0%

問3 外国企業との取引、外国人の採用などについて、貴社・貴団体のお考えを教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 拡大していく	49	39.8%
2. 現状のまま	48	39.0%
3. 拡大しない	8	6.5%
4. 考えたことがない	17	13.8%
(無回答)	1	0.8%
合計	123	100.0%

問4 貴社・貴団体では、外国企業とのビジネスを行っていますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. 行っている	61	49.6%
2. 行っていない	61	49.6%
(無回答)	1	0.8%
合計	123	100.0%

問5 法律という専門知識とグローバルな視野を兼ね備えた人材を育成することについて、印象を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. とても共感する	21	17.1%
2. 共感する	93	75.6%
3. あまり共感しない	7	5.7%
4. 共感しない	1	0.8%
(無回答)	1	0.8%
合計	123	100.0%

問6 グローバル法学科の教育で伸ばそうとする以下の能力について、貴社・貴団体が必要と思われるか。(各項目で、あてはまるもの1つに○)

(1)異文化理解
 ・異質な文化や価値観をお互いに対等な立場で理解する能力
 ・グローバルな視野に立って考え行動する能力

選択項目	回答数	構成比
1. 必要だと思う	107	87.0%
2. 必要だと思わない	3	2.4%
3. どちらでもない	13	10.6%
(無回答)	0	0.0%
合計	123	100.0%

(2)コミュニケーション能力
 ・外国語、日本語を問わず、言動を用いて自らの考えを表現できる能力
 ・様々なメディアやIT技術を活用して効果的に情報を伝えることの出来る能力

選択項目	回答数	構成比
1. 必要だと思う	120	97.6%
2. 必要だと思わない	0	0.0%
3. どちらでもない	3	2.4%
(無回答)	0	0.0%
合計	123	100.0%

(3)法的知識
 ・グローバルに展開される経済活動、文化活動、政治活動などを法的側面からとらえ、事象を分析し、論点を整理し、法的知識を駆使しながら問題を解決する能力

選択項目	回答数	構成比
1. 必要だと思う	93	75.6%
2. 必要だと思わない	7	5.7%
3. どちらでもない	23	18.7%
(無回答)	0	0.0%
合計	123	100.0%

問7 明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科(仮称)」に対して、どれくらい興味がありますか。(あてはまるもの1つに○)

選択項目	回答数	構成比
1. かなり興味がある	6	4.9%
2. やや興味がある	75	61.0%
3. あまり興味がない	16	13.0%
4. 興味がない	2	1.6%
5. わからない	22	17.9%
(無回答)	2	1.6%
合計	123	100.0%

問8 明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科(仮称)」を卒業する学生を、貴社・貴団体に採用したいと思いますか。(あてはまるもの1つに○をし、1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。)

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	26	21.1%
2. 採用を検討したい	72	58.5%
3. 採用は検討しない	20	16.3%
(無回答)	5	4.1%
合計	123	100.0%

以下は、問8で「1. 採用したい」「2. 採用を検討したい」を回答した 98 機関・団体が回答対象である。

(問8で) 1または2とお答えいただいた場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。

選択項目(記入のあった人数)	回答数	構成比
1人	21	21.4%
2人	12	12.2%
3人	6	6.1%
4人	1	1.0%
5人	4	4.1%
10人	1	1.0%
未定	10	10.2%
若干名	16	16.3%
(無回答)	27	27.6%
合計	98	100.0%

問9 明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科(仮称)」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※ 29 件から回答を得た。以下、業種別に回答内容を掲載する。

業種	回答内容
製造業	精神的に鍛えられている学生が少なくなり、特に就職後高いストレスにさらされる法務・知財部門で当社の求める基準を満たす者と巡り合う事がない。母集団自体が大きくなれば、相対的に巡り合う確率も上がると期待する。何よりも、単に知識の詰め込みではなく、実学を教え、体得させて頂きたい。
製造業	外国語のベースがある学生であれば、4年間での学びを深め、将来国内外で活躍する人材となると思います。
商業	留学経験など、就職試験で特筆できるカリキュラムがあれば頭に残るかもしれない。
金融・保険業	問題解決能力は企業が求めるスキルの1つであり共通です。それに加えて、法学的な知識、思考能力があれば採用の対象になると考えています。
金融・保険業	我々地域金融機関としてグローバルな展開は今後もないが、視野の広い学生確保という意味で、様々な視点で事象を多面的にとらえられる能力を育成する環境づくりに期待します。
金融・保険業	当会は日本国内のみでの事業活動となっております。(準拠法による) そのため、海外企業との取引が展開は出来ませんので、今回、貴学が新設を予定されているグローバル法学科につきまして、当会での想定範囲外となりますこと、お詫び申し上げます。
金融・保険業	当金庫はグローバル展開はしておりませんが、貴学部で得られる能力は、当金庫においても必要な能力と考えております。優秀な人材の輩出を期待しております。
金融・保険業	グローバルかつ法律に精通した人物の輩出を期待しております。
情報通信業	事業会社としては、法的な知識だけではなく、ビジネス感覚的な素養を期待しています。貴学部、貴学科におかれましても、ビジネスに活かすことを目指すのであれば、ご検討いただけますと幸いです。
情報通信業	近年、海外のクラウドサービスを日本の企業も採用しています。 当社もクラウドサービスのサポート支援でエンジニアを教育しています。 外国語(英語)の語学力の高い人材を今後採用していきたいと考えております。
情報通信業	国内においては規制緩和の方向にあります。そのような国内の状況と海外の動向を踏まえた上でビジネスを進めていくメンバーとして参画してもちいたい。
情報通信業	法律の知識のみではなく、IT のスキルも身に付けたいという強い意志があれば、弊社のような IT 系企業でも十分戦力になると思います。
情報通信業	グローバルなビジネスを有利に進めるために、必要となる学科だと思います。 今後とも宜しくお願いいたします。
情報通信業	現在、海外進出の第一歩としてタイ、フィリピンに現地法人を設立し、日系企業様への営業を行っておりますが、今後 ASEAN 諸国への進出および外国企業も視野に入れていくようになると思いますので、国際的な場で活躍できる人材の育成は必要なものであると考えております。
情報通信業	学生が伸び伸び学びながら、構想上取得できるとされる能力(あるいはそれ以上)を身につけられることを期待します。

サービス業	大学で学んだ法律の知識だけでなく、企業に入社してから業務内容に合わせた法律を学び業務に活かしていくことを期待します。そのような初めて学ぶ法律分野も理解していく「基礎体力」をつけていただければと思います。
サービス業	「英語ができる」人が増えた印象があるので、プラスアルファを求められている気がする。特にオリンピックに向けて観光客も増え、「日本」への興味も更に高まっている企業も多いようなので、大勢の採用は難しいが、必要な能力だと思う。
サービス業	この度は、アンケートをお送りいただきありがとうございます。 ぜひ貴学の学生の方の積極的な採用を考えておりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。
その他	内向きな学生が増えている中で、グローバルな視点を持った学生を育てる事は重要だと考えます。
その他	今後採用を検討というステータスですが、働くという大前提のテーマがあつて、スキルに落ち着くと思います。貴学科で身に付けるスキルは良いものだと思いますが、働くくお金を稼ぐというテーマを含めて頂けると有難いです。
その他	柔軟な発想も持ち合わせてほしい。
その他	消防職についても近年では業務が多様化しているところがあり、体力だけでは通用しないと感ずることも多くあります。貴校が考へる新学科についても広い視野を持つきっかけとなる良いものと感じます。是非、良い人材を育てて頂きたいと考えます。
その他	内容を拝見させて頂き、海外に視野を向けた教育方針を強く感ずた半面、法的スキルが少しあいまいである印象を受けます。異文化理解やコミュニケーションスキルは、留学で補えることを考慮すると、もっと法律知識習得の為に、他大学でもやるようなディスカッション等の机上でのものではなく、社会的に通用するような資格習得を意識させるような、より実務的で即戦力になる人材の育成をして頂きますと、より魅力的かと思ひます。
その他	客観的に物事を見る能力とコミュニケーション能力を活かして、日本と海外との様々な問題に挑める学生が期待できます。 特にこれからグローバルな視点を持って考へ行動できることが重要視されるだけでなく、スタンダードになってくることも考へられ、そこに合わせた教育方針で素晴らしい学科だと思います。
その他	・医療福祉業務に携わる人材を海外から採用する ・医療福祉のノウハウを中国、韓国、台湾など今後高齢化が予想されるアジアの国々へ提供する(コンサル業務)
その他	グローバルに活躍するためには、まず自国の文化や価値観をしっかりと身に付けなければならぬと思ひるので、その点にも力を入れていただきたいです。
その他	グローバル社会に即応した知識や技術の習得とともに、自ら考へ行動することができる力を備えた人材の育成を期待します。
その他	アジアを中心とし、今後事業を拡大していく予定です。ぜひ、一緒に成長していきたいという熱い方に来ていただけるとうれしく思ひます。
その他	当社では特定の大学、学部に対する採用枠はありません。 しかし、外国籍市民とのコミュニケーション能力が高い職員が必要だと考へています。

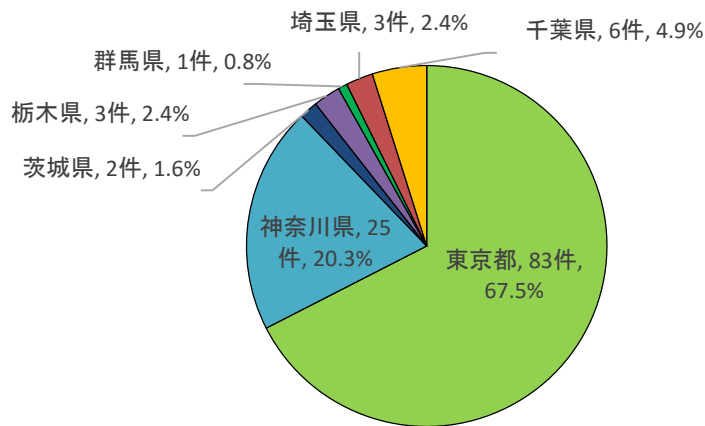
3. 人材需要アンケート調査 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数第二位を四捨五入。よって、合計は必ずしも 100.0% と一致しない。

- 回答者の約 9 割が東京都と神奈川県に所在する企業・団体。

回答を得た 123 件のうち、83 件（全体の 67.5%）が東京都、25 件（20.3%）が神奈川県であり、合計で 87.8%にあたる 108 件が、明治学院大学の近隣に所在する企業・団体からの回答結果となっている。

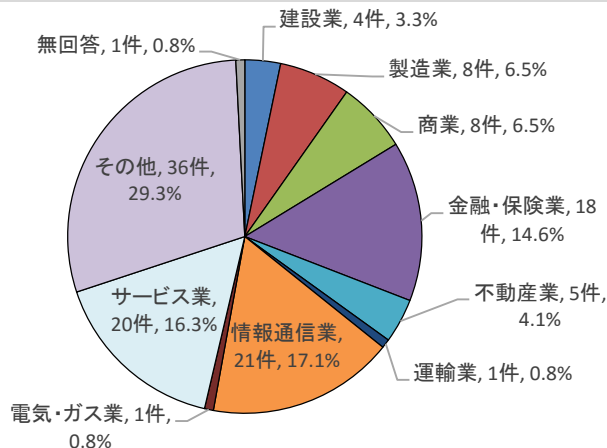
グラフ 回答元の所在地（「問1」結果より）



- 「情報通信業」「金融・保険業」「サービス業」からの回答が多くみられる。

人材需要アンケートで回答を得た 123 件を業種別でみると、「情報通信業」がもっとも多く 21 件（全体の 17.1%）であった。2 番目は「サービス業」で 20 件（16.3%）、3 番目は「金融・保険業」で 18 件（14.6%）であった。また、設定した 12 の選択肢のうち、10 項目の業種に回答があり、様々な業種より回答を得られた。

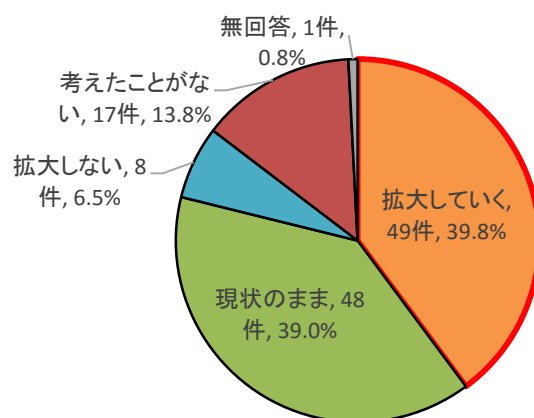
グラフ 回答元の業種（「問2」結果より）



● 約4割が外国企業との取引や外国人の採用を「拡大していく」予定と回答。

外国企業との取引や外国人の採用について、「拡大していく」に49件（全体の39.8%）が回答し、もっとも多い回答結果であった。「現状のまま」もほぼ同数の48件（39.0%）が回答しており、「拡大しない」への回答が8件（6.5%）に留まっていることから、拡大もしくは現状維持の2つに分かれる傾向となっている。

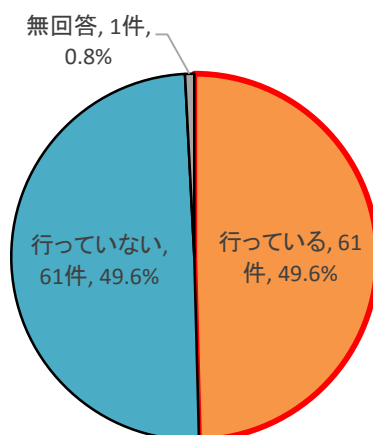
グラフ 外国企業との取引、外国人の採用の考えについて（「問3」結果より）



● 半数の企業・団体が外国企業とのビジネスを行っている。

外国企業とのビジネスについて、「行っている」に61件（49.6%）が回答した。一方で、「行っていない」にも61件（49.6%）が回答しており、外国企業とのビジネスの有無は双方同数という結果となった。

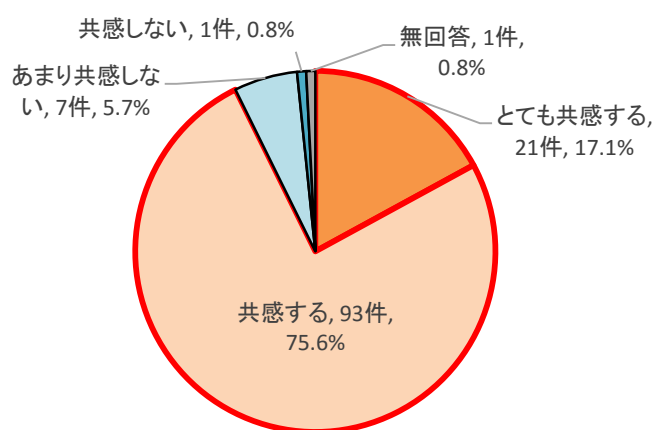
グラフ 外国企業とのビジネスの有無（「問4」結果より）



● 9割が「グローバル法学科（仮称）」で育成する人材について「共感する」と回答。

「グローバル法学科（仮称）」で育成する人材について、「とても共感する」に 21 件（全体で 17.1%）、「共感する」に 93 件（75.6%）とそれぞれ回答があり、合計で 92.7%にあたる 114 件より共感するとの回答を得られた。

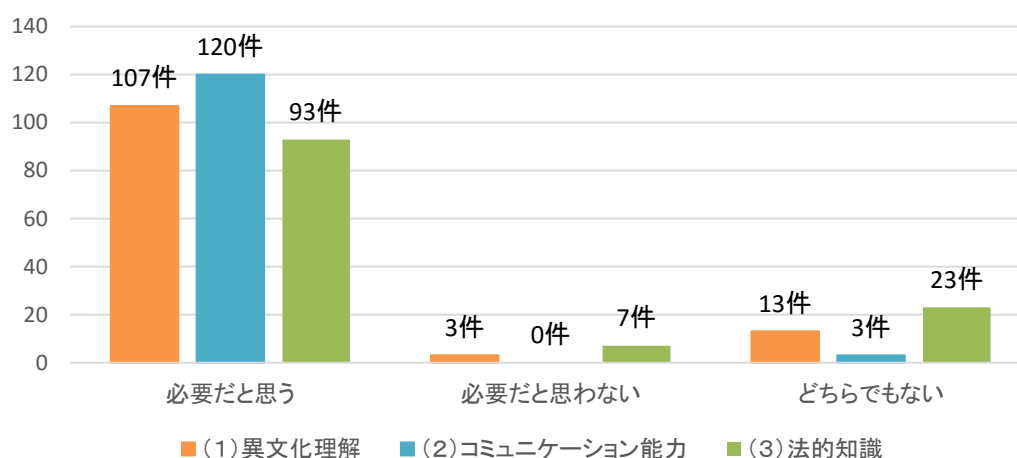
グラフ 「グローバル法学科（仮称）」が育成する人材への印象（「問5」結果より）



● 「異文化理解」「コミュニケーション能力」「法的知識」いずれも必要と回答。

「グローバル法学科（仮称）」の教育で伸ばそうとする 3 つの能力について、いずれも「必要だと思う」に回答が集中した。3 つのうち特に回答が目立ったのは「コミュニケーション能力」で、120 件（97.6%）が「必要だと思う」と回答した。

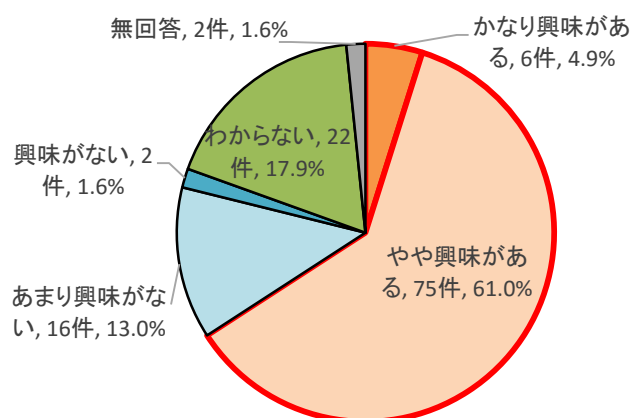
グラフ 「グローバル法学科（仮称）」の教育で伸ばそうとする能力への必要性（「問6」結果より）



● 6割以上が「グローバル法学科（仮称）」に興味を示す。

明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」に対して、「かなり興味がある」に6件（全体の4.9%）、「やや興味がある」に75件（61.0%）が回答した。合計で65.9%にあたる81件より、興味を示す回答を得られた。

グラフ 「グローバル法学科（仮称）」への興味（「問7」結果より）



● 98件が採用意欲を示し、採用可能人数は97人。

明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」の卒業生について、26件（全体の21.1%）が「採用したい」、72件（58.5%）が「採用を検討したい」と回答し、合計で98件（79.6%）が採用意欲を示した。

採用意欲を示した98件には採用可能な人数について記入を求めており、45件が具体的な人数を記入し、その合計は97人となり、明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」が予定する入学定員65人を上回る結果となった。

グラフ 「グローバル法学科（仮称）」卒業生の採用意欲（「問8」結果より）

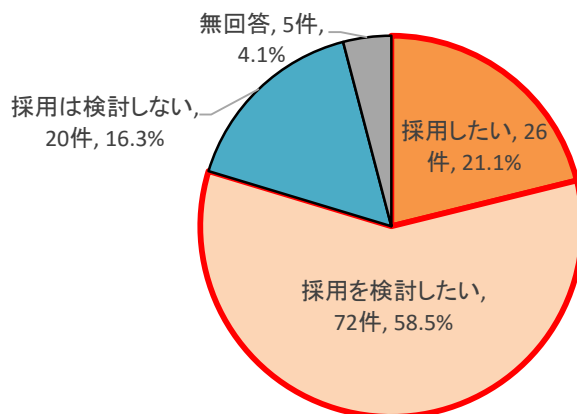
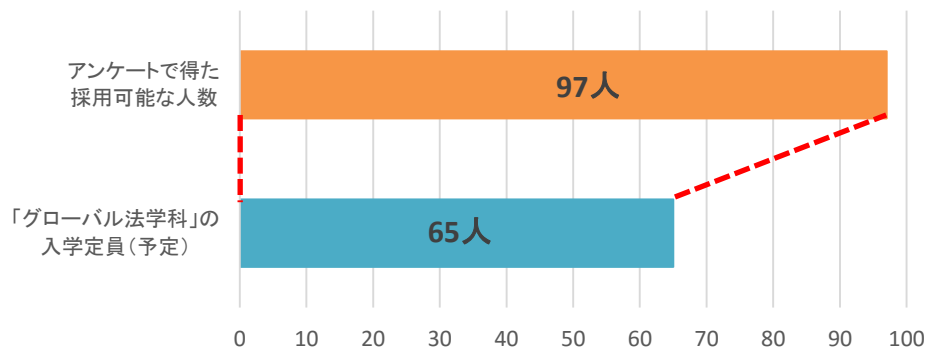


表 「グローバル法学科（仮称）」卒業生の採用可能人数（「問8」結果より）

選択項目(記入のあった人数)	回答数	採用可能人数
1人	21	21人
2人	12	24人
3人	6	18人
4人	1	4人
5人	4	20人
10人	1	10人
未定	10	0人
若干名	16	0人
(無回答)	27	0人
合計	98	97人

グラフ 「グローバル法学科（仮称）」卒業生の採用可能人数（「問8」結果より）



以上、明治学院大学法学部が平成30年4月に設置構想中である「グローバル法学科（仮称）」の人材需要の見通しは、アンケートの結果、予定する定員を上回る回答を得たため、問題ないと判断できる。

【添付】

「設置構想についての人材需要アンケート調査」用紙

2018年4月開設に向け

設置構想中

※ 学科名称は仮称のため、変更となる場合があります。

設置構想についての人材需要アンケート調査

現代社会はあらゆる出来事が国際性を帯び、急速なグローバル化が進んでいます。

明治学院大学法学部は、これまで大学の理念「他者への貢献 (Do for Others)」のもと、社会の平和と人々の幸福に貢献する、多くの人材を育成してきました。

このたび、これまでの学科に加えて、グローバル化する社会の中で実践的なコミュニケーション能力をもって異文化を理解し、法的知識を駆使して様々な分野で活躍する人材を育成するため、「グローバル法学科 (仮称)」を届出設置する予定です (2018年4月開設予定)。

本学では、このアンケート調査を通して将来「グローバル法学科 (仮称)」卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、明治学院大学の法学部グローバル法学科 (仮称) の設置に係る統計資料としてのみ活用いたします。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は明治学院大学から委託された第三者機関 (株式会社高等教育総合研究所) が実施しています。

貴社・貴団体名	
---------	--

質問数：9問 (所要時間は5～10分程度です)

実践的なコミュニケーション能力をもって異文化を理解し、法的知識を駆使して様々な分野で活躍する人材を育成。

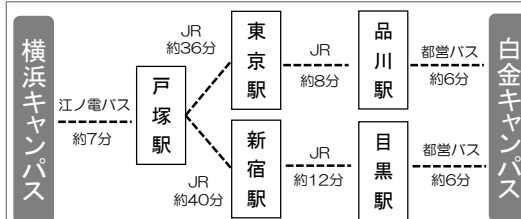
法学部 グローバル法学科（仮称）

設置構想中

学部の概要

設置場所：本学 横浜キャンパス(1・2年次) 白金キャンパス(3・4年次)
 白金キャンパス：東京都港区白金台1-2-37
 横浜キャンパス：神奈川県横浜市戸塚区上倉田町1518
 開設年度：2018年度
 入学定員：65名(収容定員:260名)

アクセス



養成する人材

明治学院大学法学部グローバル法学科（仮称）は、次のような力を備えた人材を養成します。

急速に変化するグローバル社会に即応した国際性に富んだカリキュラムのもとで、世界平和と世界正義を実現するためのグローバルな視野を持ち、法律という専門的知識で国内外に発生する様々な事象を分析し、責任感のある行動をとれる「世界市民」を育成します。

教育の特徴

グローバル法学科（仮称）では、以下のような能力を身につけられるよう教育を行います。

(1) 異文化理解

- ・異質な文化や価値観を互いに対等な立場で理解する能力
- ・グローバルな視野に立って考え行動する能力

(2) コミュニケーション能力

- ・外国語、日本語を問わず、言語を用いて自らの考えを表現できる能力
- ・様々なメディアやIT技術を活用して効果的に情報を伝えることのできる能力

(3) 法的知識

- ・グローバルに展開される経済活動、文化活動、政治活動などを法的側面からとらえ、事象を分析し、論点を整理し、法的知識を駆使しながら問題を解決する能力

卒業後の進路

法的知識をもって、国際的な場においても多様な国籍のパートナーと協働していけるような人材の育成を行い、以下のような進路での活躍を想定しています。

多国籍企業(メーカー, 商社, IT産業, 金融業等)、日本企業の海外法人、国際機関、NPO/NGO、ジャーナリズム、メディア等

また、ローカルな場面での国際化が進む現代社会においては、日本国内の民間企業や官公庁・地方自治体等においても、本学科を卒業したグローバル・リーガルマインドをもった「世界市民」が活躍することを想定しています。

初年度納付金（他大学を含む）

大学名・学部名・学科名 所在地	入学金	授業料	教育充実費等	初年度 納付金総額
明治学院大学 法学部グローバル法学科(仮称)	200,000	811,000	266,900	1,277,900
上智大学 法学部国際関係法学科 (東京都千代田区)	270,000	698,000	287,450	1,255,450
立教大学 法学部国際ビジネス法学科 (東京都豊島区)	200,000	785,000	291,500	1,276,500
中央大学 法学部国際企業関係法学科 (東京都八王子市)	240,000	776,300	193,100	1,209,400

※明治学院大学法学部グローバル法学科(仮称)の学費は2018年度予定です。

※他大学の各学部・学科の学費は各大学ホームページ掲載情報に基づきます(2015年12月時点)。

※各大学とも、上記以外に保険など諸会費が加わる場合があります。

(円)

※ 上記は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

問1 貴社・貴団体の所在地を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------|---------|--------|
| 1. 東京都 | 2. 神奈川県 | 3. 茨城県 |
| 4. 栃木県 | 5. 群馬県 | 6. 埼玉県 |
| 7. 千葉県 | 8. その他（ | ） |

問2 貴社・貴団体の業種を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 水産・農林業 | 2. 鉱業 | 3. 建設業 |
| 4. 製造業 | 5. 商業 | 6. 金融・保険業 |
| 7. 不動産業 | 8. 運輸業 | 9. 情報通信業 |
| 10. 電気・ガス業 | 11. サービス業 | 12. その他（ |

問3 外国企業との取引、外国人の採用などについて、貴社・貴団体のお考えを教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. 拡大していく 2. 現状のまま 3. 拡大しない 4. 考えたことがない

問4 貴社・貴団体では、外国企業とのビジネスを行っていますか。（あてはまるもの1つに○）

1. 行っている 2. 行っていない

問5 法律という専門知識とグローバルな視野を兼ね備えた人材を育成することについて、印象を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

1. とても共感する 2. 共感する 3. あまり共感しない 4. 共感しない

問6 グローバル法学科の教育で伸ばそうとする以下の能力について、貴社・貴団体で必要と思われますか。それぞれお答えください。（各項目で、あてはまるもの1つに○）

（1）異文化理解

- ・異質な文化や価値観をお互いに対等な立場で理解する能力
- ・グローバルな視野に立って考え行動する能力

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない 3. どちらでもない

（2）コミュニケーション能力

- ・外国語、日本語を問わず、言語を用いて自らの考えを表現できる能力
- ・様々なメディアやIT技術を活用して効果的に情報を伝えることの出来る能力

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない 3. どちらでもない

（3）法的知識

- ・グローバルに展開される経済活動、文化活動、政治活動などを法的側面からとらえ、事象を分析し、論点を整理し、法的知識を駆使しながら問題を解決する能力

1. 必要だと思う 2. 必要だと思わない 3. どちらでもない

問7

明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」に対して、どれくらい興味がありますか。
（あてはまるもの1つに○）

1. かなり興味がある 2. やや興味がある 3. あまり興味がない 4. 興味がない 5. わからない

問8

明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」を卒業する学生を、貴社・貴団体に採用したいと思いませんか。
（あてはまるもの1つに○をし、1または2の場合、よろしければ採用可能と思われる人数をご記入ください。）

1. 採用したい 2. 採用を検討したい 3. 採用は検討しない

「法学部グローバル法学科（仮称）」を卒業した学生について、1または2とお答えいただいた場合、
よろしければ以下にもお答えください。

・採用可能と思われる人数 名

問9

明治学院大学法学部が設置構想中の「グローバル法学科（仮称）」に対して、期待される点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。

※著作権者の許諾が得られない書類等

- 1 (書類等の題名)
「ワークス採用見通し調査 (新卒 : 2017 年卒)」
- 2 (出典)
リクルートワークス研究所
- 3 (引用範囲)
4 ページ「業種別 2017 年卒者の新卒採用見通し (大学生・大学院生)」
http://www.works-i.com/pdf/151217_saiyou.pdf
- 4 (その他の説明)
特になし。